

**6/27** 市役所市民ホール  
アニメ文化を紹介



合成作品でひな人形製作会社をPR

吉備国際大学アニメーション文化学部の学生が制作したアニメ作品の上映会があり、約20人が参加。日頃の学習成果を発表しました。

実写とアニメを合成する手法で、市内企業のCMを作成。企業との交渉や取材、ナレーションなども全て学生が担当しました。

高梁市を舞台としたアニメ「愛・天地無用！」のPRビデオの上演もありました。

**6/20** 栄町商店街  
心もおなかも満腹！

「みる・きく」、「あそぶ」、「つくる」、「たべる」、「うる」をテーマにした「わくわく子どもフェスタ21」（同実行委員会主催）が開催されました。

歩行者天国となった商店街では、栄町商店街振興組合、大学生や高校生の有志グループ、子育て支援団体など25の団体が参加。さまざまな催しや出店でイベントを盛り上げました。



おさるになって親子でダンス

**6/20** 備中町長谷  
親子で楽しむホテル祭り



親子で蛍籠作りを楽しむ

「長谷ホテル祭り」（長谷地区協議会主催）が開催され、雨が降る中、約300人が焼き鳥などの軽食や飲み物を楽しみながら、闇夜に輝くホテルの光を満喫しました。

長谷センターハウスでは、親子が昔ながらの蛍籠の作製に挑戦。地域住民の指導を受けながら、丁寧に重ねたわらを折り曲げて、籠状にしていきました。

**6/13** 川上総合学習センター  
江草安彦名誉市民に思いを馳せる



江草先生をしのび献花をする参列者

本市名誉市民の江草安彦先生を「しのぶ会」（同実行委員会ほか主催）が行われ、約200人が参列。生前の功績に感謝の意を表しました。

江草さんは、旭川荘の設立に尽力されるとともに、障害者の社会復帰や療育支援などの福祉活動に先駆的に取り組みました。本市においても、医療福祉施設の整備に努め、その功績は「福祉のまちづくり」につながっています。

**7/8** 文化交流館  
誇りと愛着を持てるまちに



委員長の吉備国際大学社会学部・井勝久喜教授(中)

第1回目の「高梁市まち・ひと・しごと総合戦略有識者会議」が開催され、地方創生に向けた取り組みがスタートしました。

会議に先立ち、近藤市長が各種団体の代表者など15人に、委員を委嘱し、「地方が自ら考えることが必要となった」とあいさつしました。

同会議は、12月末までに人口減少克服と地方創生を目的とした総合戦略を策定する予定です。



大人気の木工体験



多くの人でにぎわう栄町商店街

**6/21** 宇治高校体育館  
中山間地域の農業を考える



農業の現状を話す山下さん

「農業講演会 - これでもいいのか農業は -」（同実行委員会主催）が開催され、農業関係者ら約130人が、中山間地域の農業の今後のあり方について考えました。

農作家の山下惣一さんを講師に迎え、現在の農業を取り巻く状況を学習。山下さんは、家族の労働力のみで経営する「小農」が、日本の農業を守っていると話しました。

**6/14** 松原町陣山  
かれんなソバの花に囲まれて



かれんなソバの花に囲まれる

「春播きそばの花見会」（松原そばの会主催）が開催され、市内外から訪れた多くの方が、昨年収穫したそばで打ったざるそばを堪能しました。

約70㍻のそば畑は、一面がかわいらしい白い花で染まり、家族連れらが特設の展望台から眺めたり、写真に収めたりしていました。

地元で取れた野菜などの販売もあり、来場者は初夏の日を楽しんでいました。